

- ①展葉日は、平年に比べ王林で12日程度、ふじで11日程度早く推移しています。
- ②不順天候が続いておりますので、薬剤散布では例年以上に『ゆっくり、ていねい』に散布を心がけましょう。

りんごの生態

下記を参考にし、適期散布に努めましょう【( )は営農係での予想です】。

観測地点	年	王林展葉日	ふじ展葉日	ふじの開花日
森山	本年	4/3	4/7	(4/29)
三ツ目内・苦木・元長峰・長峰	本年	4/5~4/7	4/8~4/11	(5/1~5/3)
駒木・唐牛	本年	4/8	4/11~4/12	(5/3~5/4)
駒ノ台	本年	4/11	4/14	(5/5)
島田・高野新田	本年	4/12	4/15	(5/6)
古懸	本年	4/5	4/9	(5/1)
りんご試験場	本年	4/4	4/7	(4/29~4/30)
	平年	4/16	4/18	5/7
	前年	4/8	4/13	5/7

- 発芽日  
頂芽の頂部が破れて、青みが現れたものを3ヶ以上認めた時。
- 展葉日  
小さくても正しい葉形と認められる基葉が1枚でも認められたとき。
- 開花日  
1~2花開花したとき。

マメコバチの出庫日

場所	出庫日	時間
長峰りんごセンター	4/19(月)・4/22(木)	午前9時~ 午前11時
碓ヶ関りんごセンター		

- \*搬入したセンターへ引き取りにお越しく下さい。
- \*出庫日に引取りにこれない方は営農係までご連絡をお願いいたします。

薬剤散布

- 展葉初期から降雨があると黒星病に感染する恐れがあります。  
6月いっぱいまでは、散布間隔は10日以内とし、ゆっくり、ていねいに散布しましょう。
- 霧、朝露などで葉が濡れている場合は乾いてから散布しましょう。
- 降雨後の散布では、スピードスプレーヤーの運転には特に注意をし、事故ケガの無いようにしましょう。

回数 散布量	散布時期	対象病害虫	基準薬剤				防除の要点	
			薬剤名と混用順序	倍数	1,000ℓ当	収穫前日数		使用回数
1 300ℓ以上	ふじの展葉 1週間後頃	モニリア病、黒星病 腐らん病、リンゴハダニ ハマキムシ類、キンモン、ギンモン クワコナカイガラムシ	精製マシン油(97) ダズバンDF ベフラン液剤	200 3,000 1,000	5ℓ 167g×2 500ml×2	展葉期 45日 展葉期	— 1回 開花前 3回	① 近年、リンゴハダニが多くなってきましたのでゆっくり、丁寧に散布しましょう。 ② 前年にクワコナカイガラが多かったところはアプロードF 1,000倍も使用しましょう。 ③ キンモン、ギンモンの発生が多いところは、ノーモルト乳剤4,000倍も使用しましょう。
特別散布 2 300ℓ以上	前回から10日 以内	黒星病、腐らん病 モニリア病	展着剤 ベフラン液剤		1,000 500ml×2	展葉期	開花前 3回	① 前回から10日以内で散布します。
3 320ℓ以上	ふじの 開花直前 前回から10日 以内	黒星病、モニリア病 腐らん病、うどんこ病 ミダレカクモン	展着剤 カナメF バイオマックスDF		4,000 250ml×1 2,000 500g×1	前日 前日	1回 —	① 前回から10日以内に散布します。
4 350ℓ以上	ふじの 落花直後 前回から 10日以内	黒星病、うどんこ病 腐らん病、黒点病、斑点落葉病 リンゴハダニ、ミダレカクモン リンゴコカクモン	展着剤 ミギワ20F チオノックF バイオマックスDF		4,000 125ml×2 500 2ℓ×1 2,000 500g×1	前日 30日前 前日	1回 5回 —	① 前回から10日以内に散布しましょう。 ② リンゴハダニが多い園地では、バロックフロアブルも使用しましょう。

●黒星病対策と散布時の留意点●

- 被害落葉の処理を行いましょ。
- 展葉初期から降雨があると黒星病に感染する恐れがあります。  
6月いっぱいまでは、散布間隔は10日以内とし、降雨前散布を徹底しましょう。
- 散布ムラの無いようにしましょう(SS速度・散布量の見直し、樹の混み具合を解消するなど)
- 霧、朝露などで葉が濡れている場合は乾いてから散布しましょう。
- 7月上旬の薬剤は散布時期が合うように特別散布などで調整しましょう。



ゆっくり  
ていねい  
降雨前散布!!

## 人工授粉

開花中の天候不順、霜害の恐れのある園地では必ず実施するようにし、園地全体に実施できない場合は下枝だけでも行うようにしましょう。

### 人工授粉 ワンポイント

- ①. 花の採集量1手かごで約20～30a分とれます。(王林 乾燥薬 おおよそ50cc)
- ②. ラブタッチによる作業能率  
仕事量 10aあたり 2時間程度 (凡天授粉の7～10倍の能率)  
花粉使用量 10aあたり 花粉20cc + 石松子80g

## 交雑和合性

めしべ	花粉	世界一	トキ金星	つがる未希ライフ	王林	シナノゴールド	シナノスイー	ふじ(早生含む)
世界一		X	0	0	0	0	0	0
シヨナ		X	X	0	0	0	0	0
トキ・金星		0	X	0	0	0	0	0
つがる・未希ライフ		0	0	X	0	0	0	0
きおう		0	0	0	0	0	X	0
北斗		0	0	0	0	0	X	X
紅玉		0	0	0	0	0	0	0
王林		0	0	0	X	0	0	0
シナノゴールド		0	0	0	0	X	0	0
シナノスイー		0	0	0	0	0	X	0
ふじ(早生含む)		0	0	0	0	0	0	X

## マメコバチについて

- ①. マメコバチの巣箱は1群当たり2～6箱で、60～80m間隔に設置しましょう。  
\*低温時には行動範囲が狭くなります。
- ②. 鳥の食害を防ぐために防鳥網を張りましょう。
- ③. 防鳥網の内側に土取場として穴を掘り、土が乾いたら夜または早朝に水を入れて湿らせましょう。
- ④. カヤは3～5年に一度は交換しましょう。

## 防霜対策

- ①. 午後7時の気温が6℃以下、晴天無風のときに降霜の危険があるため、燃焼資材着火時点温度は、危険温度の1℃高い時点で着火する。
- ②. 防霜ファンのサーモスタットは、1.5mの位置に設置し、防霜ファンの始動温度を2℃に設定する。
- ③. 著しい低温時は、防霜ファンと燃焼資材を併用する(防霜ファンは環境にもよるが約1～2℃程度上昇効果)。

生育ステージ								
	発芽直前	発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花始	満開期	落花期
安全限界温度	-4.6	-2.1	-2.1	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7

### 【 燃焼資材 】

資材名	使い方	10a当設置量
霜カット	おが屑：灯油＝2：1 (1個2kg)	50個
防霜ロック	石綿＋灯油	20個
A重油	1缶1ℓ＋少量のガソリン	30缶
防霜ファン	始動温度を2℃に設定する。	—